

## 第1回 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議 会議録（概要）

日時 平成23年6月25日（土） 午後7時より9時  
場所 新光風台自治会館  
出席者 学識経験者 : 赤井阪大教授、猪井阪大助教  
光風台自治会 : 水谷自治会長、倉場委員、飯田委員  
新光風台自治会 : 大原自治会長、本山委員、吉岡委員  
豊能町役場 : 鴻野建設課長、内田財政課長、木田企画政策課長  
事務局 : 東浦企画政策課主幹  
傍聴者 議会議員 : 上島府議、秋元議長、高橋議員、小寺議員、永並議員、竹谷議員、西岡議員、高尾議員。住民1名。

事務局 委員11名中11名出席あり、会議成立。  
会長の選任については事務局一任で、赤井教授に依頼、承諾される。  
会議に諮り委員異議なしで承認される。

会長 会長挨拶  
猪井助教を職務代理者に指名。猪井助教、承諾。

職代会 猪井職務代理者、挨拶。

会長 会議は公開とし、傍聴者資料10部を用意し先着順とする。人数制限なし。

鴻野 エスカレーターの設置経緯及び利用状況について資料により説明。  
質疑 ・実際支払いをしていない監視業務は空欄にすべき ⇒ 空欄にする。  
・エスカレーター利用者の老人・子どもの内訳は ⇒ 不明である。  
次回会議までに、調査の方法等を検討し提示する。

木田 人口推計について資料により説明。  
質疑 ・西地区の推計はあるのか ⇒ 地区別推計は行っていない。住民登録では地区別年齢別が作成できる。  
次回会議に提出する。

内田 財政再建計画策定の背景について資料により説明。  
資料の内、財政再建計画の主な観点については説明を割愛。

質疑 ・エスカレーターだけではなく、トータル的なものの中での判断が必要  
・人口減を引きとめるのにはエスカレーターが必要と考える。  
・エスカレーターがあるから引きとめられるとは思わない。町を活性化して若い人が住んで良かったと思える施策こそが必要である。

- ・エスカレーターが無ければ引っ越して来なかった。無ければ若い人は来ない考える。

- ・財政再建計画の進捗の中身とその経過が分かる資料がほしい。

新光風台で行われたアンケート結果について、資料により説明。

光風台でのアンケート調査については、自治会としては取るところまでは至っていない。当自治会として会議の進捗の中でアンケートが必要か否かの判断をする。

会長 次回会議での用意する資料等について

- ・広報に載せた内容についても再度説明。
- ・人件費が高い理由について文章化が必要。
- ・事業廃止のプロセスを示す資料、例えば、必要な事業と必要でない事業を並べて、コストも踏まえた中で順番に並んでいる資料。
- ・エスカレーターの利用人数は年齢別、電車降りた人が何を使っているのか、光風台・新光風台のどちらに行くのかの調査がいつできるのかという目安・スケジュール。
- ・エスカレーターを継続した時のコスト推計とエレベーターを付けた時の見積もりなど。
- ・エスカレーター・エレベーターに関わらず、別の施策に投資をすればエスカレーターが無くなった以上の効果があるという住民からの意見。

内田 優先順位付けは出来ない。廃止する事業と存続させる事業の一覧は出来る。

会長 次回資料を出してもらおうと、町として必要な事業ということは分かるので、やめるものと必要なものとの違いを、住民が納得できるのかどうかを含めて、費用便益分析もそうだが、タダで出来るものであればあっていいわけで、2億円かかるものと1億円かかるものでは順位が変わってくるので、出来たらコストも出していただきたい。今回はその中身を見るということと、財政状況がどうなっているのか、実際どう変わったのかも会議出席者には今の状況を十分わかってもらい、住民と相談してもらおうという事にしたい。

次回会議日程

第2回 8月6日(土)午後7時～

第3回 9月3日(土)午後7時～ 場所については両日とも未定。

以上。

# 第1回 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議

日時 平成23年6月25日(土)

午後7時～

場所 新光風台自治会館

## 次第

### 1. 委員紹介

### 2. 会長の選任

### 3. 会議の公開について

### 4. 資料説明

- (1) 光風台駅前エスカレーターの設置経緯及び利用状況
- (2) 町の現状
- (3) 検討会議のテーマ及びスケジュールについて
- (4) その他

### 5. 次回以降の会議日程

日時 平成23年 月 日( )等

場所

## 本日の資料

- (1) 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議設置要綱
- (2) 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議 名簿
- (3) エスカレーター設置経緯及び利用状況
- (4) 財政再建計画の背景等
- (5) 人口推計
- (6) 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議 進行表(案)

## 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議 名簿

平成23年6月25日

		氏 名	所 属 等	備 考
1	学識経験者 (要綱第3条第1号)	赤井 伸郎	大阪大学大学院 国際公共政策研究科 教授	
2		猪井 博登	大阪大学大学院 工学研究科 助教	
3	光風台自治会 (要綱第3条第2号)	水谷 嘉明	光風台自治会 会長	
4		倉場 敦司		
5		飯田 久夫		
6	新光風台自治会 (要綱第3条第2号)	大原 光信	新光風台自治会 会長	
7		本山 一裕		
8		吉岡 雅朗		
9	豊能町役場 (要綱第3条第3号)	鴻野 芳樹	建設環境部建設課 課長	
10		内田 敬	総務部財政課 課長	
11		木田 正裕	総務部企画政策課 課長	
12				

### 事 務 局

1	豊能町役場	東浦 進	総務部企画政策課 主幹	書記
2				

## 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議設置要綱

### (目的)

第1条 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議（以下「検討会議」という。）は、光風台駅前に設置されているエスカレーターの稼働停止後における代替案について、町と地域の実情に即した案とするために必要な事項を総合的に検討するものとする。

### (協議事項)

第2条 検討会議は、次に掲げる事項を協議・検討するものとする。

- (1) エスカレーター稼働停止後の代替案
- (2) 前号の実現に向けた負担のあり方

### (構成、任期等)

第3条 検討会議の構成員は、12名以内とし、次に掲げる者で構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 住民又は利用者の代表
- (3) 豊能町職員（以下「町職員」という。）
- (4) その他検討会議が必要と認める者

2 学識経験者は、豊能町長（以下「町長」という。）が選任する。ただし、住民又は利用者の代表から推薦があった場合は、町長はこれを尊重するものとする。

3 住民又は利用者の代表は、それぞれ光風台、新光風台各自治会において選任する。

4 町職員は、町長が任命する。

5 その他検討会議が必要と認める者は、必要に応じ検討会議において選任する。

6 構成員の任期は、検討会議の発足時から平成24年3月31日までとする。ただし、補欠構成員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (検討会議の運営)

第4条 検討会議に会長をおき、構成員の互選により選出するものとする。

2 会長は、検討会議を代表し会務を総括する。

3 検討会議の会議は必要に応じて会長が招集する。ただし、構成員の3分の1以上からの要請がある場合は、会長は検討会議を招集しなければならない。

4 会長に事故ある場合は、あらかじめ会長が指名する者がその職務を代理する。

5 検討会議は、構成員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

6 検討会議の議決は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数の場合は会長の決すところによる。

7 検討会議の公開の可否は、検討会議において決する。

8 検討会議の庶務は（第2条に定める協議事項の協議・検討に必要な見積（相見積を含む。）の徴収、その他の検討資料の準備・作成を含む。）は、豊能町総務部企画政策課において処理する。

### (期限)

第5条 検討会議は、平成24年3月31日までに終了し、それまでに第2条に定める協議事項について結論を得るものとする。なお、結論が一つの代替案に集約できない場合は、複数の代替案を併記するものとする。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関して必要な事項は、会長が検討会議に諮り、検討会議の決議をもって定める。

附則 この要綱は、平成23年5月18日より施行する。

## 1. エスカレータが設置された経緯

昭和 62 年頃に新光風台の開発業者である京阪神興発からエスカレータの設置について打診があった。これは、新光風台を売り出すに当たり、販売促進のために設置したのちに、町に移管したいとのことであった。町議会の開発特別委員会など町で検討を重ねた結果、平成元年度に移管を受けることを意思決定した。

平成 2 年 2 月に工事着工し、同年 7 月 5 日に竣工式、同年 7 月 17 日に運転を開始している。

## 2. エスカレータを利用した人数調査の結果

調査日:平成22年6月3日(木)

時間	利用者数
6:00 ~ 7:00	4
7:00 ~ 8:00	3
8:00 ~ 9:00	28
9:00 ~ 10:00	3
10:00 ~ 11:00	8
11:00 ~ 12:00	7
12:00 ~ 13:00	17
13:00 ~ 14:00	16
14:00 ~ 15:00	40
15:00 ~ 16:00	32
16:00 ~ 17:00	34
17:00 ~ 18:00	101
18:00 ~ 19:00	173
19:00 ~ 20:00	234
20:00 ~ 21:00	176
21:00 ~ 22:00	125
22:00 ~ 23:00	92
23:00 ~ 23:25	42
合計	1,135

調査日:平成23年6月7日(火)

時間	利用者数
6:00 ~ 7:00	4
7:00 ~ 8:00	8
8:00 ~ 9:00	10
9:00 ~ 10:00	9
10:00 ~ 11:00	10
11:00 ~ 12:00	15
12:00 ~ 13:00	20
13:00 ~ 14:00	28
14:00 ~ 15:00	26
15:00 ~ 16:00	48
16:00 ~ 17:00	62
17:00 ~ 18:00	115
18:00 ~ 19:00	168
19:00 ~ 20:00	228
20:00 ~ 21:00	139
21:00 ~ 22:00	95
22:00 ~ 23:00	84
23:00 ~ 23:25	47
合計	1,116

## 3. 維持管理に要する費用(年間)

単位:千円

項目	H20年度	H21年度	H22年度(決算見込)	H23年度(予算)
年間保守管理料	3,360	3,360	3,042	3,042
電気代	760	738	719	804
修繕料	1,838	2,046	146	1,500
合計	5,958	6,144	3,907	5,346

## 4. エスカレータの仕様

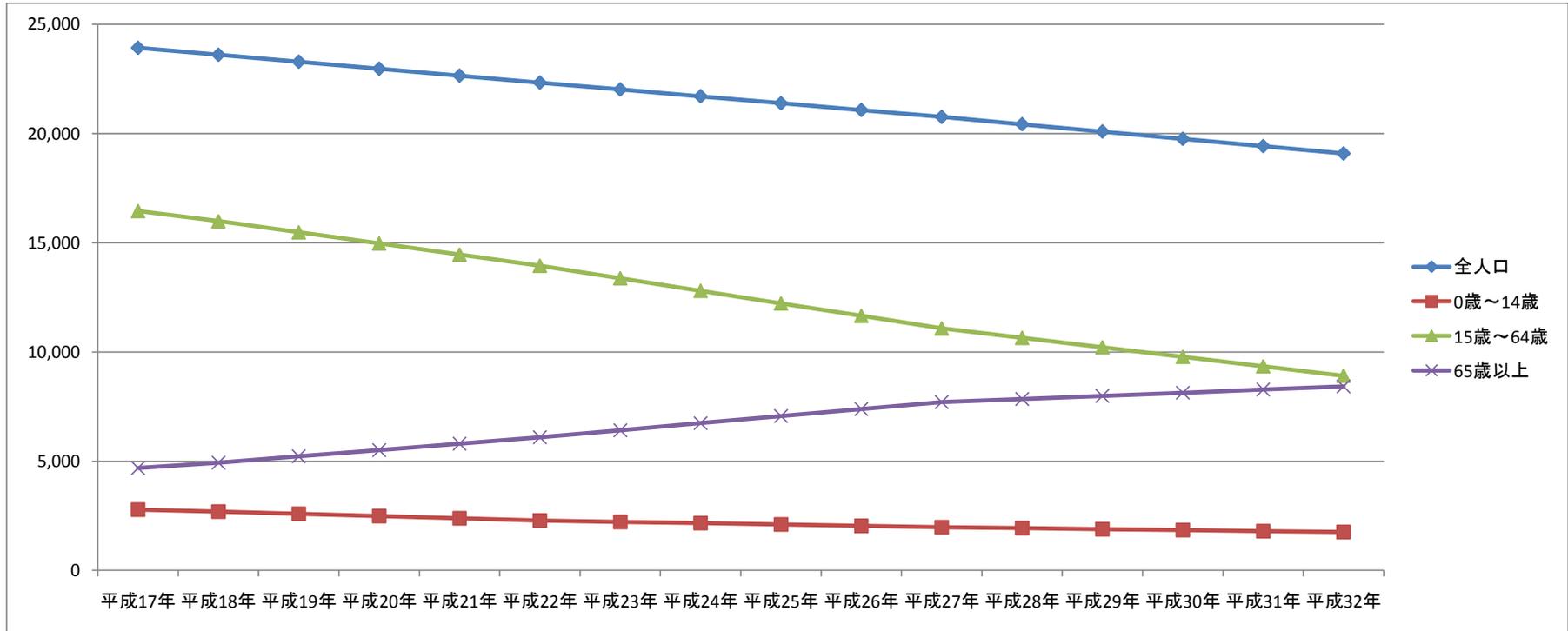
	1号機	2号機
製造メーカー	(株)日立製作所	(株)日立製作所
輸送能力	6,000人/h	6,000人/h
速度	30m/min	30m/min
傾斜角度	30°	30°
電源	3φ AC200V	3φ AC200V
電動機	7.5kw	5kw
階高	9.5m	5m
ステップ数	107枚	63枚

## 国勢調査による人口推計（毎年10月1日、平成20年10月推計）

### 1 人口推計(コーホート変化率法)

(人)

年齢別人口	調査人口	推 計 人 口																		
	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年			
全人口	23,928	23,608	23,291	22,971	22,654	22,335	22,020	21,709	21,391	21,080	20,765	20,429	20,096	19,759	19,426	19,090				
0歳～14歳	2,782	2,688	2,587	2,486	2,385	2,284	2,223	2,162	2,099	2,038	1,977	1,933	1,887	1,845	1,799	1,755				
15歳～64歳	16,460	15,992	15,483	14,973	14,464	13,954	13,378	12,805	12,228	11,655	11,079	10,646	10,216	9,779	9,349	8,916				
65歳以上	4,686	4,928	5,221	5,512	5,805	6,097	6,419	6,742	7,064	7,387	7,709	8,050	8,393	8,735	9,078	9,419				
高齢化率(%)	19.6	20.9	22.4	24.0	25.6	27.3	29.2	31.1	33.0	35.0	37.1	38.4	39.8	41.2	42.6	44.1				
							21,976	【参考】平成22年 国勢調査 速報値												



## 財政再建計画策定の背景

### 歳入の状況

- 町税は、平成9年度の34億6千4百万円をピークにほぼ連続して減少し、平成21年度は24億6千万円に。
- 地方交付税も、平成12年度の23億9百万円をピークにほぼ連続して減少し、平成21年度は16億1千7百万円に。

### 基金の状況

- 積立型基金の残高（現金ベース）は、平成5年度の50億5千万をピークに取り崩し続け、平成21年度は14億4千5百万円に。



### 平成21年10月時点の財政推計

- 平成22年度末の基金残高は6億6千万円にまで減少
- 平成23年度当初に基金がゼロになり、1億7千7百万円の赤字が発生
- 平成26年度末の累積赤字は20億1千万円に達する



### 平成22年3月、財政再建計画策定

- 目標：平成22年度から平成26年度までの5年間、黒字を維持した上で、突発的な事態に備え基金を10億円以上残す
- 計画を実行しても実質単年度収支は赤字（基金の取崩しが必要）
  - 平成26年度末の基金残高は7億円を切る見込み



### 今後の見込み

- 平成23年3月時点の財政推計
  - 計画を実行しても実質単年度収支は悪化（基金依存体質の継続）
  - 平成22年度末の基金残高は17億1千6百万円に一時的に増加し、平成26年度末の基金残高は10億円を維持できる見込み
  - 平成27年度以降もこのまま基金依存体質が続けば、数年先に赤字転落

## 財政再建計画の主な視点

### ◆ 策定の基本的な考え

即効性のある歳入増加策が見当たらないことから、歳出の削減を進め、歳入に見合った施策規模とする。収入と支出の均衡を目指す。

### ◆ 必要性

- ✓ 行政の関与が必要か。
- ✓ 財政状況が悪化した場合に他を廃止してでも存続すべきか。
- ✓ 廃止した場合に住民生活に多大な困難を及ぼすか。

### ◆ 有効性

- ✓ 目的に応じた効果が表れているか。
- ✓ 住民ニーズに適応しているか。
- ✓ 他に類似の施設（サービス）がないか。
- ✓ 利用者数は多いか。

### ◆ 公平性

- ✓ 特定の者が受益者とならないか。
- ✓ 大きな財政負担を伴うことについて住民の理解が得られるか。
- ✓ 適正な利用者負担を求めているか。
- ✓ 社会的・経済的要支援者が対象か。

### ◆ 施設の老朽度

- ✓ 老朽化が進んでいるか。
- ✓ 近年、全面改修が行われたか。
- ✓ 現在、全面改修が計画されているか。
- ✓ 耐震構造になっているか。耐震化工事が行われたか。

光風台駅前エスカレーター代替案検討会議 進行表（案）

平成23年6月25日

年・月	平成23年							平成24年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日	25日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
会議	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
大項目	代替案の検討					負担のあり方			整理・確認等	
小項目	現在のエスカレーターについて	エスカレーターの得失とその費用	エレベーターの得失とその費用	その他代替案の得失とその費用	代替案のまとめ	負担のあり方の検討	負担のあり方の検討	負担のあり方の検討	整理・確認等	整理・確認等
その他資料等	設置経緯 利用状況 財政状況 人口推計等	見積	見積	見積						



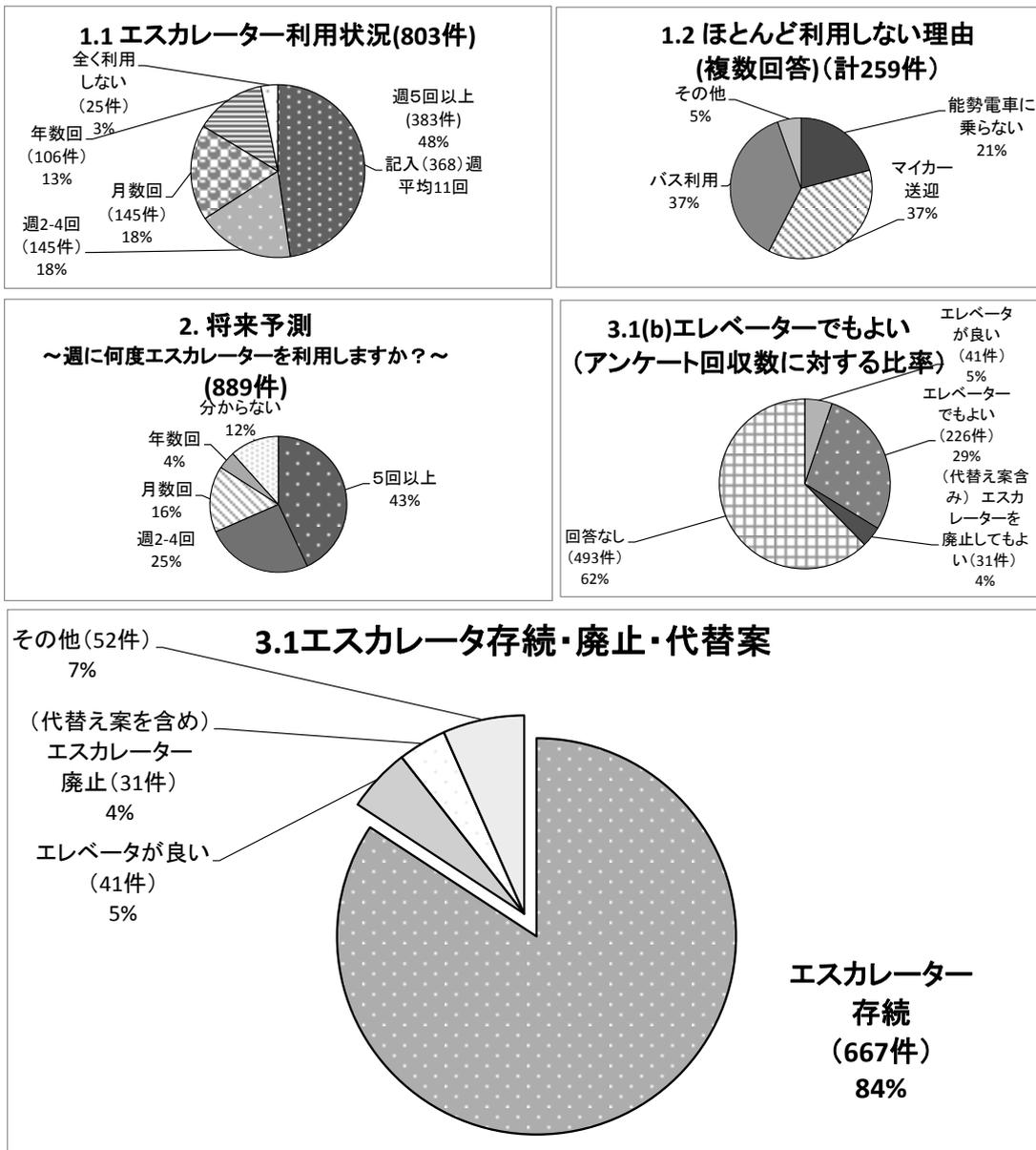
# 「光風台駅前エスカレーター廃止問題」アンケート集計結果速報(改)

平成23年6月15日  
新光風台自治会・継続協議委員会

アンケート回収率は58.9%でした（アンケート配布数:1342戸、回答数: 791 件）。文章によるご意見も多数(約100件)お寄せいただき、ありがとうございました。

町が主催する「光風台駅前エスカレーター代替案検討会議」は6月には正式に発足することになり、来年3月末までに結論を得ることになっています。構成員は、学識経験者2名、住民又は利用者の代表者6名(光風台・新光風台自治会から各3名)、町職員2名、その他検討会議が必要と認めた者2名以内となっています。住民又は利用者の代表者を自治会が選出することについて、町からは自治会から選任された者がその代表者であると言えるのか確認しておく必要があるとの意見が寄せられましたが、このアンケート結果を住民・利用者の意見として、「検討会議」に当自治会選出代表者を通じて提出する予定です。「検討会議」の公開の可否については、検討会議で決定されることになっています。なお、「検討会議」などに関するご意見は、新光風台自治会・継続協議委員会にお寄せ下さいませようお願い申し上げます。

## 84%の回答者がエスカレーター存続を希望



エスカレーター(等)が無くなれば不便になり、町外への転出を検討 44%

エスカレーター(等)が無くなれば不便になり、資産価値が下がる 51%

町が人件費のさらなる削減(府下他町村並みの人件費比率)を達成しても財源が不足するなら受益者負担も止むを得ない 69%(546件/791件中)

